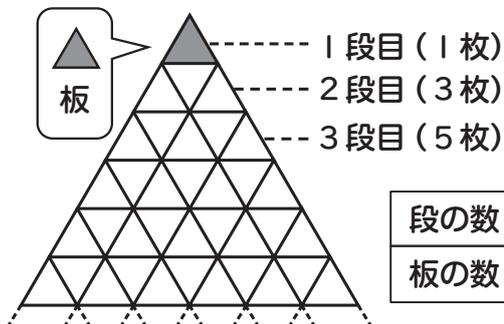


6年

算数 図・表・式を使って考える

6年 組  
名前

①図のように正三角形の板を並べていきます。①～③に答えましょう。



①段の数を  $x$  段目、  
板の数を  $y$  枚として  
下の表に数を書きましょう。

段の数 $x$ (段目)	1	2	3	4	5	6
板の数 $y$ (枚)	1	3	5	7	9	11

図や表を使って、  
ともなって変わる  
2つの量の関係を見つけて式に表すと、  
数が大きくなっても計算で  
答えがわかるね。

②段の数  $x$  と板の数  $y$  の関係を下の式で表します。

□に当てはまる数と  $x \cdot y$  を書きましょう。

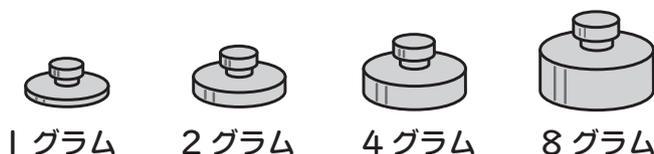
$$1 + \boxed{2} \times (\boxed{x} - 1) = \boxed{y}$$

③ 21 段目に並ぶ板の数は何枚ですか。

式 (  $1 + 2 \times (21 - 1) = 41$  ) 答え ( 41 枚 )



② 1グラム・2グラム・4グラム・8グラムのおもりがあります。これらを組み合わせて重さを量るとき、何通りの量り方がありますか。



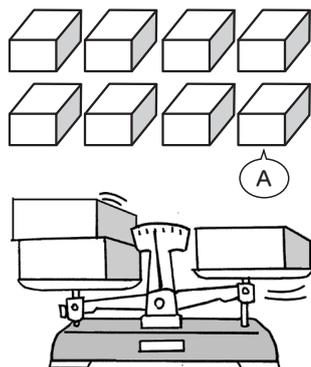
答え  
( 15 通り )  
※ 1～15グラムまで



③ 8個の箱があります。この中に1個だけ10グラム重いAの箱があります。はかりを2回だけ使って、Aの箱を探します。( )に当てはまる数を書きましょう。



① 1回目… 8個の箱のうち ( 6 ) 個を選び、  
( 3 ) 個ずつに分けてはかりに  
のせます。



② (ケース1)  
1回目ではかりがつり合うと、そこにAはなく、残りの ( 2 ) 個のどちらかがAになるので、これらを2回目に量るとわかります。

③ (ケース2)  
1回目ではかりのどちらかの箱が重くなると、その ( 3 ) 個の中にAがあります。そこで、2回目はそのうちの ( 2 ) 個を選び、  
( 1 ) 個ずつに分けて量ります。重い方がAです。はかりがつり合ったときは残りの ( 1 ) 個がAになります。

